

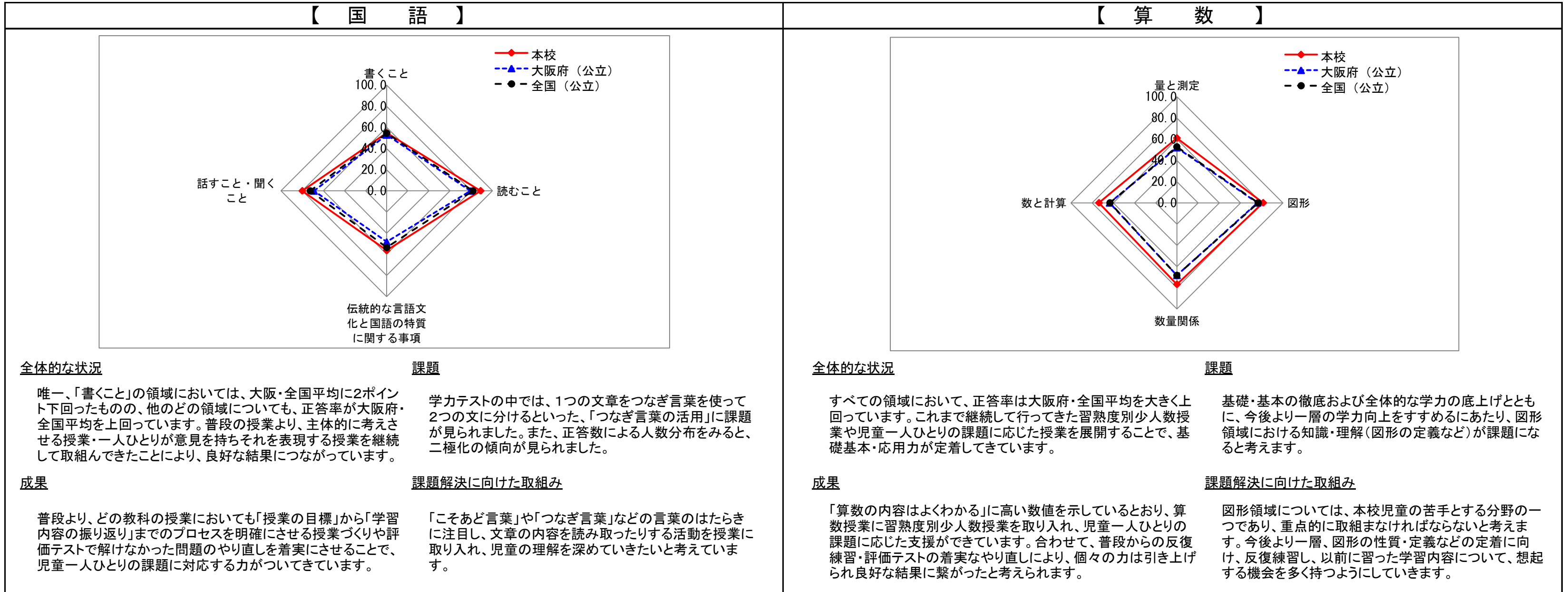
喜志西小だより

令和元年度 第7号
令和元年9月27日
富田林市立喜志西小学校

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
国語・算数の内容はよくわかる。	91.7・91.6	85.0・84.8	84.9・83.5
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	98	94.9	95.2
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。	83.3	77.8	79

全体的な状況

児童のほとんどが、自己肯定感を高めたり、これから将来において、児童が活動していくための原動力となる「ものごとを最後までやりきった充実感・達成感」を持つことができていると考えます。また、普段の良好な学校生活の様子からも、どんな課題に対しても前向きにやっという姿勢が伺えます。

成果

自己肯定感の高揚は、自他ともに大切に思う心を育むことに繋がります。また、課題に対して、前向きに取組もうとする姿勢にも大きく関係してきます。児童一人ひとりが自分自身に自信を持ち、よりよい学校生活を送るのために、学校とご家庭との連携がうまくかみ合っている成果であると考えています。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを使用した。(週1回以上)	10.5	29.4	30.6
外国の人と友だちになったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか。	56.3	67.5	68.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	91.7	96.9	97.1

課題

ICTを使用した授業については、府・全国と比べ、随分低い結果となっています。高学年では、週2時間程度の外国語活動において、パソコン・電子黒板等を使った授業を行なっているものの、児童自身が操作する機会が少ないためこのような結果になっていると思われます。

課題解決に向けた取組み

今年度市全体で、児童用タブレット等のICT機器や校内LANの整備等についての計画があります。これに伴い、タブレット等を活用した授業の機会を増やし、児童たち自身が教室でICT機器を使う授業を展開していきます。今後、児童たちにどのような場面でどんな使い方をさせていくのかを考えた授業づくりに取組んでいきます。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

・学習面において・・・算数においては習熟度別学習を取り入れた指導の工夫、他の教科においても子どもが興味を持って学習に取り組める教材を工夫することで、さらなる基礎・基本の定着と応用力の伸長をめざします。また、全教科の学習において、自分の意見を持ち、発表し、話し合うといった活動を取り入れた授業づくりを行なっていきます。

・生活面において・・・学校生活の基軸は友人関係にあり、学年・クラスの他の児童との関係性が良好であればあるほど、学校の楽しさに繋がっていると考えています。よりよい人間関係づくりと各家庭での基本的な生活習慣のさらなる確立に向け、ご家庭との連携をより一層図っていきたくと考えます。

・本校PTAスローガンにも掲げている、「朝ごはんの摂取」「就寝時間」についての結果は、今年度も相対的に高い数字となっています。これらの項目は、今の子どもたちにとって、各家庭で過ごす時間が充実したものとなるとも大切な要因であり、各家庭が子どもたちの基本的な生活習慣に高い意識をもって取組まれている結果であると考えます。最近、全国でゲーム(オンラインゲームを含む)等による友だちとのトラブルや長時間ゲームをすることで体調不良を訴える児童が多くなっており、そのような事態にならないためにも、引き続きご家庭での取組みをよろしくお願いいたします。